

# オランダ産カラー品種「キャプテンフエゴ」は 切り下球を再利用した栽培体系に適應できる

福島県農業総合センター 会津地域研究所

## 1 部門名

花き—カラー—品種

## 2 担当者

大竹真紀・星佳織・堀越紀夫

## 3 要旨

畑地性カラーの輸入球は高価であり費用負担が大きいいため、切り下球を再利用できれば経営上有利であるが、最近導入が進みつつあるオランダ産多収性品種は再生産に関する特性が明らかになっていない。橙色系のオランダ産品種「キャプテンフエゴ」でも「クリスタルブラッシュ」と同様に切り下球を再利用した栽培体系に適應でき、良好な品質の切り花が得られた。

- (1) 「キャプテンフエゴ」の輸入球を秋切りしたあとの切り下球は、2年目の5月定植で小球を養成に仕向けるほか、中～大球は夏切りの採花もできた(表1)。
- (2) 「キャプテンフエゴ」の再利用球は、3年目の7月定植秋切り栽培において品質のよい切り花が得られた(表1)。
- (3) 「キャプテンフエゴ」の栽培後の球根からは、翌年再利用が可能な球根を十分量確保することができた(表1)。

表1 栽培体系と「キャプテンフエゴ」の切り花および球根の状況

栽培年	球根の由来	作型	サイズ <sup>1)</sup>	定植球根	採花本数 (本/球)	切り花長 (cm)	掘上球根	球根 肥大率 (%)	球数 (個/株)
				重量 (g/球)			重量 (g/株)		
初年目	輸入球購入	7月定植秋切り	20/24	65	16.9	45	162	248	2.7
		5月定植養成	小	16	0.9	49	124	790	2.1
2年目	切り下球 再利用	5月定植夏切り	中	39	3.3	52	195	505	3.0
			大	166	6.1	57	330	199	7.3
3年目	再利用球	7月定植秋切り	中	62	4.1	63	185	301	2.5
			大	121	6.6	66	260	215	3.9

\* 初年目：平成26年、2年目：平成27年、3年目：平成28年。栽培地は会津坂下町、猪苗代町で、数値は2ヶ所の平均値。

1) サイズ：20/40は輸入球の規格で特大球、小は30g未満、中は30～80g未満、大は80g以上とした。

## 4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 平成26年度～28年度
- (2) 研究課題名 会津地域の特色を活かした野菜・花きの高品質安定生産技術の確立  
(畑地性カラーの低コスト栽培体系の確立) (畑地性カラーの多収栽培技術の確立)
- (3) 参考となる成果の区分 (指導参考)

## 5 主な参考文献・資料

- (1) 平成26年度参考成果「カラー「クリスタルブラッシュ」の秋切り栽培は前年5月定植の再利用球で収量アップ」
- (2) 平成26年度参考成果「秋切り栽培に有利なレーマニー系カラー品種」
- (3) 平成26年度参考成果「会津地域におけるレーマニー系カラーの経営試算」